

感染予防対策ガイドライン

旭川軟式野球連盟

旭川軟式野球連盟
会長 長野 昭彦

はじめに

本ガイドラインは令和5年3月16日付で全日本軟式野球連盟から発出されたガイドラインに基づいて作成した内容となっています。

また、今後令和5年5月8日以降新型コロナウイルス感染症は現在の2類相当から5類へ変更が予定されており、本ガイドラインは廃止となり、基本的に各個人が自主的な感染対策を講じていただくことになります。しかしながら学童・少年部などは個人の判断で行うことが難しい場面が多々あると思いますので、チームの皆様（監督・コーチ・スタッフ・父兄）の適切なアドバイスをお願いいたします。

本ガイドラインは5月7日までの期間と5月8日以降に適用される部分が混在しますのでご注意ください。

1. 令和5年5月7日までの感染予防対策

(1) 感染予防対策（チーム・選手・スタッフ・審判員・大会関係者）

①体調がよくない場合（発熱・倦怠感など）は自主的に参加を見合わせる

②マスクの着用 ※不織布マスクを推奨

- ・移動中ならびに練習・試合でのマスクの着用は個人の判断に委ねることとする。
- ・ただし、風邪症状（咳・鼻水など）がある場合にはマスクを着用すること
- ・球場に入る際の選手・チーム関係者・審判員のマスク着用は個人の判断とする。

③応援方法の可能例（○）、禁止例（✕）

拍手	○
通常の応援（マスク着用時）	○（マスク非着用時の声出し✕）
タオル等を横に広げ左右に振る	○（タオルを振り回す✕）
ハイタッチ	○
鳴り物の応援	○（ラッパ等呼気を発する✕）
指笛・ホイッスルを使った応援	✕（呼気を発する用具の使用は✕）
メガホンを打ち鳴らす応援	○（メガホンを使用する声出し✕）

(2) 大会参加に関する注意事項（見直し項目の対比表）

項目	旧ガイドライン	新ガイドライン	備考
消毒薬の等準備	運営側が準備	運営側が準備することを推奨する。	準備する
検温・健康チェックシート	提出が必要	検温・健康チェックシートの提出は 不要	
マスク着用 （選手・監督・コーチ）	常時マスクを着用（試合に出る選手・コーチを除く）	マスクの着脱は個人の判断に任せる。 但し、症状があるときは着用する。	
第1試合の入場時間	別に定める	試合開始90分前（開会式がある時、別途通知）	
マスク着用 （大会関係者・審判）	常時マスクを着用	マスクの着脱は個人の判断に任せる。 但し、症状があるときは着用する。	

2. 令和5年5月8日からの感染予防対策

(1) 基本的な考え方

新型コロナウイルス感染症の感染経路は、せき、くしゃみ、会話等のときに排出される飛沫やエアロゾルの吸入、接触感染等と考えられていることから、基本的な感染対策が重要です。

基本的な感染対策とは、「三つの密」（① 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、② 密集場所（多くの人が密集している）、③ 密接場面（互いに手を伸ばしたら手が届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件をいう。

回避の対応は「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等をいいます。

このうち「マスクの着用」の考え方については、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本とし、政府は各個人のマスクの着用の判断に資するよう、令和5年2月10日新型インフルエンザ等対策推進会議で示された「マスク着用の有効性に関する科学的知見」等を踏まえ、感染防止対策としてマスク（不織布マスクを推奨）の着用が効果的である場面などを示しています。

① 高齢者等重症化リスクの高い者への感染を防ぐため、マスクの着用が効果的な下記の場面では、マスクの着用を推奨します。

- ・ 医療機関受診時
- ・ 高齢者等重症化リスクが高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設等への訪問時
- ・ 通勤ラッシュ時等混雑した電車やバス（概ね全員の着席が可能であるもの〔新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等〕を除く。）に乗車する時（当面の取扱）

この「マスク着用」の考え方は、令和5年3月13日から適用されていますが、なお、「マスクの着用」の考え方の適用に当たっては、以下の点に留意します。

- 。 マスクを着用するかどうかは、個人の判断に委ねることを基本とし、本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう周知していきます。
- 。 子供（学童）については、発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要であり、選手に対してもマスクの着用の考え方を周知します。

- 。感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広くよびかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。保護者や周りの大人が個々の学童の体調に十分注意する必要があります。

5月8日以降、新型コロナ感染症が5類へ変更されても新型コロナ感染症がこの世界からなくなることではありません。依然として感染の危険性があり、季節性インフルエンザと同じ考え方で感染予防に注意する必要があります。基本的な感染対策は重要であり、引き続き試合会場や練習場では「三つの密の回避」、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の励行について呼びかけることとします。

（2）大会に関する注意事項

5月8日以降は前述したガイドラインは廃止され、感染対策はすべて個人の判断に委ねられます。したがって一人一人が自主性をもって感染対策を講じていただきます。けっしてすべての規制がなくなったと混同しないようお願いします。

集団感染があれば大会や活動自体が中止になることもあり得るという認識を持って参加をお願いします。但し、今後北海道軟式野球連盟などの上部組織から別途ガイドラインの通知があれば皆様に迅速にお伝えしますのでよろしくお願いします。

それでは、感染対策を行いながら野球を楽しみましょう！！